

日本物流団体連合会から 「モーダルシフト取り組み優良事業者賞」を受賞



11月11日に行われた表彰式。写真右から、センコー(株) 福田 泰久社長、一般社団法人 日本物流団体連合会 渡邊 健二会長

センコー株式会社(本社:大阪市北区、社長:福田 泰久、以下「センコー」)が、一般社団法人 日本物流団体連合会(会長:渡邊 健二)から「令和2年度モーダルシフト取り組み優良事業者賞」を受け、11月11日に学士会館(東京都千代田区)にて、表彰式が行われました。

受賞内容は、「実行部門」1件、「有効活用部門」1件、計2件です。

「実行部門」では、センコーが幹線区間において、貨物総輸送量のうち鉄道・海運の利用比率が40%超を達成したことが評価されました。

「有効活用部門」では、センコーが、関西地区から九州地区間の食品、樹脂、ソーラーパネル等の往復輸送について、トラック輸送から海上輸送へのモーダルシフトを実現したことが評価されました。モーダルシフトでは、社内集配ネットワークで両地区の集約拠点(ハブ)に荷物を集約することにより、まとまった物量確保と安定した配送力を確保したほか、有事等の船便欠航に備えて、東広島(中間拠点)折り返しによる自社トレーラーのドッキング輸送体制を構築し、安定的な幹線輸送体制を実現しました。

また、この取り組みにより、センコーはドライバーの運転時間について、年間2,000時間以上の削減効果を見込んでいます。

以上